

北海道地区本部

第26回拡大執行委員会開催

3月6日札幌市「TKP札幌駅カンファレンスセンター」において、第26回拡大執行委員会を開催しました。委員会は菊池委員長より「新型コロナウイルスの国内感染が初めて確認され一年が過ぎた今も収束の兆しは見えず、私たちの生活を一変させている。新型コロナウイルス感染症の拡大により、貨物会社も収入が伸び悩み、厳しい経営がより深刻となっている。これまでの経験則を超える状況だが、厳しい時期こそ組織に結集し、できることを着実に積み重ね、未曾有の難局を克服して「こう」とはじまり、その後、安全の確立、2021春闘、組織課題と選挙の取り組みについて挨拶がされました。



菊池委員長

続いて吉永書記長より第35回定期大会以降の経過報告及び議題について一括提案がありました。質疑では参加した代議員や傍聴者を含めた仲間から、2021春闘や組織課題、シニアを含めた労働条件の改善、貨物会社の経営自立など、すべての質問や意見に対し、地区本部より説明や答弁があり、2021春闘の当面する取り

組みと具体的行動を確認し、最後に菊池委員長「団結がんばろう」で拡大執行委員会を終了しました。



吉永事務局次長



「団結がんばろう」

また、第26回拡大執行委員会開催前にJR連合北海道地協主催で「安全の確立・2021春闘勝利・民主化闘争完遂・2区補選・衆議院選挙闘争勝利」をスローガンに3・6全道総決起集会が開催されました。総決起集会は主催者を代表して昆議長（JR北労組）より、
①2021春闘の課題
②安全の確立③民主化闘争の完遂④政策課題について⑤政治について挨拶がありました。その後、連合北海道・藤盛事務局長の来賓挨拶を受け、「JR二島等に対する支援策と法改正に向けた国会情勢」についてJR連合、中山組織・政治部長よりいただき、短時間でしたが二島・貨物の経営自立実現に向けたJR連合の取り組みについて詳しく講演をいただきました。

そして、基調報告を菊池委員長（副議長）がおこなひ、決意表明では浦島副委員長が安全の確立と組織課題、貨物会社の状況、春闘の取り組みについて報告し、集会宣言を吉永書記長（事務局次長）が提案し、全体の拍手で確認されました。

拡大執行委員会参加者全員で参加し、JR連合北海道地協の仲間と共に2021春闘を闘い抜く意思統一を図ってきました。

不安な時代。
安心な共済。



みんなで暮らしをガード
交運共済
全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合